

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人ラーフ

令和4年度事業報告について

I. 事業実績

総評：本年度は、事業活動を行うことができたものの、拠点によっては、新型コロナウイルス感染での影響や最低賃金や物価高騰の影響を受けた1年であった。

まず、新型コロナウイルス感染による影響について記載する。リール拠点において、コロナ禍で減少した来客の戻りに取り組む為、営業活動に力を入れたが成果が出ていない。ビーム拠点において、7月～8月にかけて、職員間で新型コロナウイルス感染者が複数名出てしまった。幸い重症化する者はいなかったが、ビームとしては、人員配置基準を満たすことができない上に、感染を拡げない為に事業所の閉鎖を行った。その他にも感染者が単発的に職員や利用者様に発生していた。

一方、人材に関して報告する。令和3年度から始めた事務部職員各部署担当制の定着によって、支援を行う職員が、事務作業ではなく、利用者様との時間に力を注ぐ環境に近づいたと考えられる。具体的には、介護処遇改善助成金の申請や報告、各拠点の労務作業及び経理・会計作業、求人や契約作業等である。また、パソコンのトラブル対応が早くなり、作業効率が向上したと考えられる。全体的な残業時間も減少傾向である。人材育成についても、内部研修が定着できており、現在の知識や技術の底上げができる環境になって来た。一方で、なかなか外部研修への機会が少ない為、研修会を通じて広がる専門職のネットワークづくりに弱さがみられる。

次に、本年度の決算について報告する。本年度は営業利益では150万円の黒字、経常利益では380万円の黒字決算であった。しかし、施設整備の積立はできなかった。収益面は、障がい福祉サービス等事業収益が1,600万円の増収だった一方で、介護保険事業収益は、380万円の減収だった。費用面は、最低賃金アップによる人件費の増加、また物価高騰による水やエネルギー関係の高騰により水道光熱費やガソリン代の増加、そして食材の仕入れ代の増加により、全ての部署において経費が増加した。具体的には、人件費が710万円の増加や就労支援事業費が200万円の増加が見られた。一方で事務費は、約40万円の減少が見られた。全社的な事務用品の節約の結果と考えられる。その他、今後も注視しなければならない費用は次の2点である。

- ・交通事故が3件で保険料が20%アップ
- ・電気代及び、燃料代は、全社的な節電の取り組みによって、概ね10%アップにとどまっている。

交通事故対策や経費削減の取り組みは、継続的に取り組んでいく必要がある。

最後に、本年度の補助金及び助成金は、香川県物価高騰等を乗り越える事業者を応援する総合補助金、百十四福祉財団助成金、以上の2つの補助金・助成金合計63万5千円であった。

また、今年度は香川県から香川県医療・福祉施設応援金支給、観音寺市から医療・介護・障害等サービス事業者物価高騰対策支援金、合計133万円が支給された。

[事業展開(重点的取り組み)]

(1) 事業活動収入を2億円、純利益率5%を目指す為に、次の取り組みを行う。

- ① 各事業所の1日利用者数を、定員の9割以上を達成又は維持する。
- ② 紙媒体での保管義務が無い書類のペーパーレス化を行い、経費の削減を行う。
- ③ 加算の報酬をとれる事業所づくりを行う。各障がい福祉サービス事業所の加算をリストアップし、取得できる可能性が高い順番に優先順位を明確化して取り組む。

報告：事業活動収入は目標達成に70万円足りず、達成できなかった。

純利益率は0.7%だった。

- ①は、3月末時点でやまもものみ達成することが出来た。
- ②については、各部署の長の呼びかけにより経費の削減を徹底して行っている。部署によって、タイムカードをデータ化したり、配布物をPDF化したり等、取り組みが進んでいる。
- ③については、各部署のサービスにおける加算を表にまとめ、見える化を行った。また、取得可能性が高いものから順にわかるように評価を行った。体制を整えて令和5年度に取得する。

(2) ウイルスに関するBCP 全面的に見直し、法人全体のリスクマネジメントを強化する為に、次の取り組みを行う。

- ① 法人全体の計画と、各部署の計画がリンクする構造で作る。
- ② 福祉事業関連の連携先や物品や材料の仕入れ先、緊急時に支援が必ず必要となる利用者様の一覧を作成し共有しておく。
- ③ リモートワーク行う為のデータ化を進める。

報告：通所型サービスのBCPは全面的な見直しができる。しかし訪問型サービスの物は未完成である。

- ①については、各部署の物と全体を一体的に作る事ができた。また、感染レベル等は、香川県の基準に基づいて作成した。
- ②福祉事業関連業者のリストは作成できなかった。しかし、介護部において緊急時に支援が必ず必要となる利用者様の一覧は出来上がっている。
- ③については、財務諸表以外の書類はデータ化が進んでいる。Teamsの承認機能や、チャットの活用でほとんどの神媒体はデータで送ることができ、リモートワークが可能な環境になって来たと考えられる。

(3) 人財レベルを強化し、加算の報酬をとれる事業所づくりを行う為に、次の取り組みを行う。

- ① 内部研修だけでなく、外部研修を積極的に取り入れ、部署全体の人財レベルの向上を行う。主任以上の中間管理職は、年に2回以上外部研修を受講する。業務職は、年に1回以上外部研修を受講する。
- ② 内部研修では、最新の動画教材も活用していく。

報告：各部署の長は、報酬加算をとることを念頭においた育成や人財配置を行っている。外部研修の参加は、現場業務が優先してしまう為あまり進んでいない。

- ① については、取り組みが不十分である。主任及び管理職は外部研修に1回程度参加しているが、業務職の外部研修は全体で11件だった。一覧表示する等の管理を行う必要がある。
- ② については、各部署により活用する所としない所ある。活用する所の意見では、最新の情報がある、資料作りの手間を削減できるというものである。一方で活用しない所の意見では、担当者の学び・振り返りになる、人財育成に繋がるというものであった。どちらの意見も肯定できるものであるため、各部署の状況により、今後とも取り組んでいく考えである。

II. 管理施設

施設名	居宅訪問介護 事業所ラーフ	障がい福祉サービス 事業所 やまもも	支援センター ウィズ	リール	ビーム
定員		20名	20名	20名	20名
所在地	香川県観音寺市古川町97番地2		香川県観音寺 市栄町3丁目 5-3-2	香川県観音寺 市柞田町丙 1060-1	香川県観音寺市古川 町608番地1
土地	1172.04 m ²		125.42 m ²	1794.73 m ²	680 m ²
建物	14.90 m ²	362.42 m ²	45.26 m ²	496.37 m ²	210.41 m ²

Ⅲ. 法人運営

1. 法人運営における理事会・評議員会

(1) 理事会の開催

ア 第一回理事会

令和4年6月3日(金) 13時30分～14時30分

- | | |
|-------|----------------------|
| 議案第1号 | 令和3年度 事業報告書の承認について |
| 議案第2号 | 令和3年度 決算書の承認について |
| 議案第3号 | 令和3年度 監事監査報告書の承認について |
| 議案第4号 | 給与規定の変更について |
| 議案第5号 | 育児・介護休暇に関する規則の変更について |
| 議案第6号 | 職場積立制度について |
| 議案第7号 | 評議員会の開催日時の承認について |

イ 第二回理事会

令和4年10月6日(木) 13時30分～14時30分

- | | |
|-------|--|
| 議案第1号 | 理事長からの報告 |
| 議案第2号 | 社会福祉法人ラーフ 就労継続支援A型事業所リール 就業規則の変更について |
| 議案第3号 | 経理規定の変更について |
| 議案第4号 | 福祉・介護職員処遇改善加算、介護職員処遇改善加算および福祉・介護職員等特定処遇改善加算に関する規定の変更について |
| 議案第5号 | 評議員会の開催日時の承認について |

ウ 第三回理事会

令和5年3月7日(火) 10時00分～11時00分

- | | |
|-------|-----------------------|
| 議案第1号 | 令和4年度 第1次補正予算書(案)について |
| 議案第2号 | 令和5年度 事業計画書(案)について |
| 議案第3号 | 令和5年度 予算書(案)について |
| 議案第4号 | 就業規則の変更について |
| 議案第5号 | 給与規定の変更について |
| 議案第6号 | 各種運営規定の変更について |
| 議案第7号 | 評議員会の開催日程の承認について |

(2) 評議員会の開催

ア 第一回評議員会

令和4年6月17日(金) 11時00分～12時00分

- | | |
|-------|--------------------|
| 議案第1号 | 令和3年度 事業報告書の承認について |
| 議案第2号 | 令和3年度 決算書の承認について |

- 議案第 3 号 令和 3 年度 監事監査報告書の承認について
- 議案第 4 号 給与規定の変更について
- 議案第 5 号 育児・介護休暇に関する規則の変更について
- 議案第 6 号 職場積立制度について

イ 第二回評議員会

令和 4 年 10 月 29 日(土) 10 時 00 分～11 時 00 分

- 議案第 1 号 理事長からの報告
- 議案第 2 号 社会福祉法人ラーフ 就労継続支援 A 型事業所リール 就業規則の変更について
- 議案第 3 号 経理規定の変更について
- 議案第 4 号 福祉・介護職員処遇改善加算、介護職員処遇改善加算および福祉・介護職員等特定処遇改善加算に関する規定の変更について

ウ 第三回評議員会

令和 5 年 3 月 25 日(土) 10 時 00 分～11 時 00 分

- 議案第 1 号 令和 4 年度 第 1 次補正予算書(案)について
- 議案第 2 号 令和 5 年度 事業計画書(案)について
- 議案第 3 号 令和 5 年度 予算書(案)について
- 議案第 4 号 就業規則の変更について
- 議案第 5 号 給与規定の変更について
- 議案第 6 号 各種運営規定の変更について

(3) 責任者会議

固定議題（◆理事長より◆前月の収支・実績・利用者数報告◆活動について◆委員会からの報告◆クレーム・ヒヤリハット・問題点について◆魅力ある法人作りに向けて）以外の議題を表にした。

日時	内容
4/14 (木)	◆事業報告書について◆6 月の理事会の提案議題について◆IDECO について
5/12 (木)	◆経費削減と収入アップへの各事業所の取り組み
6/16 (木)	◆処遇改善助成金の新しい支払い形式について
7/7 (木)	◆ビーム内職（軽作業）について◆積立投資信託について
8/9 (火)	◆個人面談について◆処遇改善ベースアップ加算について◆最低賃金について ◆インボイス制度について◆請求書フォーマット統一について
9/13 (火)	◆理事会提案議題について◆防災訓練（法人内連絡体制）について
10/18 (火)	◆防災訓練振り返り
11/15 (火)	◆リール人事の件について◆新型コロナウイルス感染防止について対応確認
12/13 (火)	◆新型コロナウイルス感染 発熱者対応について
1/10 (火)	◆BCP の見直しについて◆国保連加算について◆事業計画書作成について
2/16 (木)	◆個人面談について◆理事会提案議題について
3/14 (火)	◆事業報告書について◆決算書作成について◆資格手当の見直しについて

(4) 研修委員会の開催

ア 委員会 8/19 9/15 10/20 11/17 12/15 各回 11:00~12:00

委員長 高石 (リール)

委員 今井 (介護部)、林 (やまもも)、佐々木 (ウィズ)、大西 (リール)、横澤 (ビーム)、
石川 (事務)

イ 管理職研修 1/20 14:00 ~ 15:00

主題:「会計実務とインボイス制度」

担当: 事務部主任 石川留美

ウ 全体研修 3/19 10:00 ~ 12:00

主題:「私らしく生きる~ありのままを受入て~」

講師: 岡山高等学院 講師 瑠璃真依子氏

(5) レクリエーション委員会の開催

ア 委員会 新型コロナウイルス感染拡大の為、令和4年6月下旬より、委員全員がメールで意見交換を行った。内容は「忘年会の開催または代替案」についてであった。

イ 忘年会 全体での忘年会は中止し、部署ごとに小規模の食事会か、物品購入、ラーフ内で使える商品券かを選んだ。食事会に参加できなかった職員にも商品券を配布し、全職員が何らかの形で参加することができた。

(6) 広報・啓発

ア ラーフ通信の発行

毎月発行し、介護部・やまもも・ウィズ・リール・ビームの情報を発信した。

イ ホームページ、ブログ、SNS の運用

- ・ ホームページ更新は事務部で行い、ラーフ通信の掲載をした。
- ・ ブログは、ウィズが (ウィズのブログ) 活動報告や活動予定を発信している。
- ・ フェイスブックは、やまもも及びリール各自運用。やまももは作業の様子・販売情報を、リールはレストランメニュー、キャンペーンやイベント案内を発信した。
- ・ インスタグラムは、フェイスブックと連携させ、ウィズ及びリールが各自発信している。
- ・ LINE はリールが運用。おすすめメニューや美容室のキャンペーン情報を発信した。

(7) 苦情

件数、内容、解決結果

回数	内容	解決策
2	職員の対応が十分でないのではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい時間帯の苦情。忙しい時間帯は職員を2名にすることで解消に向け対策。 ・悪天候で屋外の植木鉢を移動したら扉が開きづらくなった。置き場所の検討と屋外の整理を行う。
1	利用者様ご家族から、担当者会で職員から話を遮られ、憤りを感じた。	管理者よりご家族への謝罪、該当職員への指導。今後も指導の継続を行う。
1	利用者様から職員から言われた言葉に不快感があると苦情	確認すると、数年前の会話を思い出し苦情として申し出ていた。 過去の発生時に職員からの謝罪があり、納得をいただいていたことを確認。謝罪と引き続き、冗談などが通じない方もいることを念頭に置き発言する際に気を付けることを周知した。
1	ご家族より帰宅後に指が腫れていることに対して連絡があった	気づけなかったことを謝罪し、原因を推察し報告。県、市、相談員へも報告。
1	保護者より送迎中の職員と他の利用者様との話し声が苦痛である	送迎中の必要以上の会話自粛と配慮を行うことにし、周知した。
1	隣家より騒音苦情 車の扉やブレーキランプ等の騒音や光で不快感を大きく感じている。県と市へも申出があった。	扉開閉や外での会話、アイドリングに気を使い、隣家と反対側に出入りが頻繁な車を駐車した。休日、夜間の出入りは基本的に行わないことを説明。 解決に至らず、話し合い継続中
1	利用者様が自転車を隣家に立てかけていたことから、自転車置き場を反対側にしてほしいと隣人より苦情	謝罪するとともに、反対側には植え込みと駐車スペースの関係で、これまで通り駐車したいこと、対策として場所を倒れても当たらない位置に駐輪することで、納得いただいた。
1	施設の利用に関して県福祉サービス運営適正化委員会へ苦情が上がる。 作業の強要やルールを守らなかった場合に処罰しているや、コロナが5類移行後の事業所の利用時間を元に戻すことに反対などの申し出があった	申し立てがあった事項に関し、委員会へ返答。 作業の強要は行っていない、ルールを守っていない場合に注意はしたが、処罰は行っていないと経緯と状況を交えて説明を行った。他の利用者様とのやり取りを断片的に捉えて申告している様子だった。 利用時間を元に戻した現在、申告した利用者様にも通常通り利用いただいている。

(8) 法人事務スタッフ会議・研修

ア 事務部所内会議 時間は毎月 12:30~13:30

日	出席者	内容
4/27	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆決算確認事項周知
5/25	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆理事会準備◆パソコン OS 入替について
6/22	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆インボイス制度
7/27	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆インボイス制度
8/24	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項
9/27	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項
10/26	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項
11/30	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項
12/28	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆郵便物の受け渡し効率化
2/22	理事長・石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆事業計画書の見直し周知
3/22	石川・滝口・毛利・合川・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項

イ 事務部所内研修

日時	出席者	内容
4/13	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	Freee 会計 決算に向けて
6/16	石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	Freee 会計 新年度変更点と転記エラーになる原因について
8/10	石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	軽減税率とインボイス制度
9/21	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	インボイス制度
10/12	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	制度・法令・規定類更新について
11/10	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	今年度 年末調整
12/14	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	虐待防止
1/25	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	ICT の活用について
3/8	毛利理事長・石川・滝口・合川・毛利・小西・北谷	決算に向けて 資産・棚卸

※多忙期と重なり、開催に至らない月が発生。

報告者：事務長 石川留美

IV. 社会福祉事業各部署における事業実績

1. 居宅訪問介護部ラーフ

(1) 利用状況

ア 居宅訪問介護（介護保健・総合事業）

利用人員： 31人 月平均利用者 30名

対象者：介護保険要介護者 要支援者

内容：要介護者・要支援者（総合事業）が自宅で日常生活を営むことができるように援助する。入浴、排せつ等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助を訪問介護計画に従い、サービスを提供する。事業の実施にあたっては、関係市、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めた。尚、新型コロナウイルス感染対策を常に実施、感染防止に努めた。スマホアプリを使用しヘルパー活動記録票を入力するようになり、業務の効率化がはかれた。

イ 障がい者の居宅訪問介護（支援費・移動）

利用人員： 53人（移動のみ6人） 月平均利用者 50名

対象者：障害福祉サービス受給者証・地域生活自立支援事業受給者証交付者

内容：障がいを持つ利用者様が居宅において、日常生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及びそのおかれている環境に応じて、入浴・排泄等の身体介護・調理・掃除等の家事援助、外出における移動支援、生活等に関する助言・相談を行う。支援員と連携をとり、居宅訪問介護に従ったサービスを提供する。尚、新型コロナウイルス感染対策を常に実施、感染防止に努めた。セールスフォース社の訪問介護ソフトを導入。スマホアプリを使用してヘルパー活動記録票を入力するようになり、業務の効率化がはかれた。

ウ 目標について

昨年度の新規顧客の傾向として、介護保険は総合事業、障がいサービスは家事援助の依頼が多い。件数の割には、単価が低いので、売り上げは伸び悩んでいる。

実数働けるヘルパーの人数が少ない、ヘルパーが高齢化している等、人材不足が深刻な問題である。

新型コロナの感染拡大期には、ヘルパーとヘルパーの家族にも感染者が出て、長期の休みの為の代替人員がおらず、キャンセルをしなければならない事態が起きた。売り上げに影響を及ぼした。今後もマスク着用、消毒、体温チェック等、感染予防を続けていく。

来年度は、サービス提供責任者を1名増やす予定。利用者増と、後継に期待したい。

(2) 部所内会議・部所内研修

ア 部所内会議

昨年に引き続き、LINE を利用してリモート会議を行った。Wワークのヘルパーがいるため、参加人数が少ない。

月	議題
5月19日	利用者様の報告・活動の確認
6月30日	
7月21日	
8月25日	
10月19日	
11月24日	
1月26日	
2月27日	

イ 部所内研修

月	議題	担当者
4月	セールスフォースの使用方法	山下
5月	接遇・法令順守	今井
6月	クレームの対応	横澤
7月	脱水・熱中症対策	山下
8月	倫理	今井
9月	緊急時対応	横澤
10月	認知症	山下
11月	感染症対策	今井
12月	虐待防止	横澤
1月	冬の健康管理	山下
2月	事故再発防止	今井
3月	食中毒予防	横澤

報告者：居宅訪問介護部 課長 山下聡子

2. 障がい者福祉サービス事業所やまもも

(1) 利用状況

定員 20名 利用登録者数 27名 (令和5年3月31日現在)

(1日平均 19.1人:延開所日数 5,375日/開所日 282日)

開所日:月~金、第2第4土曜日(9:00~16:00)

※作業、販売などでの開所日追加変更有り

対象者:知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行された者

(2) 支援状況

【日中活動】

就労継続支援B型

ア 平均工賃22,000円台を確保しつつ23,000円台への土台作り

新型コロナウイルス感染症も徐々に収まってきた甲斐もあり、地域イベントも少しずつ開催されるようになってきたため製品販売の売上げが回復傾向が見られた。のみならず、ジャムの製造と販路の拡大に取り組んだことも影響して売上げの伸びが見られた。施設外就労は清掃作業をプラスで取り入れ、各農業系作業も二年目三年目を迎えた利用者が能力的に伸び収益を上げて作業に取り組めたと感じた。軽作業は安定した売上げを計上しており、一部利用者しか取り組めなかった作業も担い手を増やす可能性を広げられている。結果、目標工賃を上回る23,871円の平均工賃まで伸ばすことができた。

イ 利用登録者数25名以上(平均利用者数22名程度)の魅力ある事業所づくり

3月末では27名登録であるが末尾で就職による対処、年度初めに引っ越しにより退所者があることが決定している。利用定員は超過しての目標であるが、職員数の充実も図れており、調理作業、農作業、施設外就労、軽作業、手芸作業とこれまで同様に各種作業を準備して利用者確保に努める。調理作業がしたい、手芸作業がしたいといった地域の利用希望者の声もあるため、平均利用者が上がり事業所の活気も増せるような雰囲気づくりを進める。

3月31日時点で利用契約人数が25名の目標を達成できた。ただ、通所日が限られている方もおおく、中には個人の生活の拡充、充実が日中活動以外で広がりすぎて通所意欲が低下してくる利用者様も増えてきており、今後は毎日通うことが活力になるような作業提供や雰囲気作りなどが必要となってきた。収入をB型利用で伸ばしたい利用者様、今の活動を無理なく継続したい利用者様、一般就労に繋がりたい利用者様など、個々で利用目的が全く異なる利用者様が増えてきており、今後の個別支援計画と提供する作業のマッチングを丁寧に進めていく必要がある。

ウ 個別支援の充実と専門性のある支援力を持った職員育成

4年度はサービス管理責任者基礎研修に1名参加してもらった。次年度は前年度研修に参加した職員に実践研修を受講してもらう予定。それまでに両名にサービス管理責任者業務の個別支援計画（案）までの過程をしっかりと遂行できるように指導を行い、1名にはサービス管理責任者として業務に就けるように準備していく予定である。4年度は部署内研修でも個別支援計画の作成を扱っており、個別支援計画から実践、振り返りの流れを全体で共有できたと考えている。5年度はより理解を深めて各職員が担当する利用者をより把握できる一年にしたい。

面談の時間を多くとり、より利用者様の現状と希望を理解することが出来た。それを個別支援計画に活かして作業支援、生活支援を各職員が行えたと考えている。また、相談支援専門員とこまめに連絡を取り合い、日常の様子、課題への取り組み状況などを共有することにも努めることが出来た。

(3) 主催イベント

- ・利用者バーベキュー（令和4年7月23日）
- ・もちつき（令和4年12月28日）※ビームと合同
- ・初詣（令和5年1月4日）

(4) 会議・研修

ア 職員会

日時	内容
4月4日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
5月2日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
6月1日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
7月1日（金）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
8月3日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
9月5日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
10月3日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
11月2日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
12月1日（金）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
1月11日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
2月1日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
3月1日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他

イ 内部研修

月	内容	その他（担当職員等）
4月22日（金）	虐待防止	石川ひ
5月28日（金）	てんかん	林
6月24日（金）	感染症予防	長野
7月22日（金）	意思決定支援	石川ひ
8月26日（金）	個別支援計画作成	石川ひ
9月23日（金）	ストレスケア	渡辺
10月28日（金）	身体拘束	石川ひ
11月25日（金）	高次脳機能障害	林
12月28日（水）	虐待防止	石川ひ
1月27日（金）	自閉症スペクトラム症	石川ひ
2月27日（月）	個別支援計画作成	長野
3月29日（水）	ストレングスを活かした支援	石川ひ

※その他、新規職員研修、防災研修

報告者：障がい福祉サービス事業所やまもも 施設長 石川浩久

3. 支援センターウィズ

支援センターウィズでは、令和4年度の事業実施の方針として、

- ① 1日平均10人以上の達成と継続を行う。
- ② SNSを活用し、ウィズの魅力を積極的に発信する。
- ③ SSTを活動に取り入れる。
に重点を置き取り組んだ。

- ① 今年度も引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策として、検温、手洗い、消毒、換気の徹底、3密を避けるために利用時間を午前と午後に分けることにより、利用者様を分散し、安心安全な環境づくりに努めた。

1日平均10名の達成を目標とし、SNSなどを利用し情報発信に努め、新規契約者は7名増えたが、達成にはつながらなかった。今年度も困りごとや悩みがあるが、コロナ禍における不安や体調不良、交通手段がないため来所困難な利用者様等からの電話相談数が相当数あり、単なる居場所ではなく、「安心して話せる場所」としての機能が求められていると感じた。

- ② 昨年度よりInstagram、フェイスブック、ブログでの情報発信に取り組み、職員全員が週1回以上発信することを目標として取り組んできた。Instagramやフェイスブックでは主にワッフル販売やイベント関すること、ブログでは主に活動に関することを発信した。Instagramは今のところフォロワー数45名、ブログはフォロワー数14名、1日平均20名の方に読んでいただいている程度だが、ウィズのことだけでなく、発達障がいや精神疾患に関する情報や地域の情報を発信することに努めた。
- ③ SSTに関しては、毎月1回、利用者数が多い月曜日に開催した。職員も内部研修でSSTに関して学びを深めた。また、共同募金の助成金を利用して、一般社団法人 hito.toco より就労移行支援に関わる専門の講師を招いてコミュニケーション・マナー講座を開いた。

(1) 利用状況

登録者 58名
 利用開始者 7名
 契約解除者 0名

ア 利用者数月別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録人数	52	54	56	56	56	56
月述べ人数	106	143	176	153	152	141
1日平均利用者数	5.30	7.53	8.00	7.65	6.90	7.05
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	56	58	58	58	58	58
月述べ人数	130	127	129	114	108	126
1日平均利用者数	6.65	6.35	6.14	6.00	5.68	5.73

イ 利用者数地域別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
観音寺市	57	92	105	93	90	88	
三豊市	49	51	71	60	62	53	
合計	106	143	176	153	152	141	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観音寺市	82	79	75	65	67	69	962
三豊市	51	48	54	49	49	57	654
合計	133	127	129	114	108	126	1616

登録者数 観音寺市 37 名
三豊市 21 名

計 58 名

ウ 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来所	1	2	0	0	0	2	
電話	10	4	7	8	13	15	
合計	11	6	7	8	13	17	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	1	2	1	0	0	0	9
電話	11	8	23	8	10	8	125
合計	12	9	24	8	10	8	134

(2) 支援内容

ア 創作活動

対象者 : 興味がある利用者様、就職を希望する利用者様等

内容 : ワッフル、乾燥野菜、雑貨などの製作・販売、パソコンを使つての編集・内職(外部委託3種)など

状況 : ワッフルに関しては、1~2名の利用者が製造に参加、1~2名が販売に参加。ワッフル販売のイベントは1件のみ参加。内職には主に3名参加。折り紙と箱の作成。参加者は責任感を持って取り組んでいる。参加した利用者様には工賃を支払っている。

イ レクリエーション活動

対象者 : 興味がある利用者様

内容 : コミュニケーション会、SST、カラオケ、外食、みんなの会、ゲーム大会、しゃべり場、お茶会、ラーフ通信作成、モウリの部屋など

状況 : 2~3名から、多い時は5~6名が参加。モウリの部屋、みんなの会では、ゲームやおしゃべりを通してSSTにつながるよう工夫している。SSTではコミュニケーションカアッ

プを目指して毎月1回取り組んだ。飲食に関しては、感染予防に気を付けながら少人数で開催した。カラオケは、施設内でマスク着用、換気しながら開催し、ストレス発散している。

(3) 会議・研修

ア 部所内会議

日 時	内 容
4/26 16:00~17:00	現状報告、予定確認、モニタリング、スマイルレポート、令和4年度事業計画について その他
5/24 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート 講演会について、その他
6/16 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、共同募金イベントについて、その他
7/26 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、利用者へのアドバイス、忠告について、その他
8/22 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、モニタリング、スマイルレポート、その他
9/27 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、防災訓練について、その他
10/25 16:00~17:00	現状報告、予定確認、スマイルレポート、その他
11/24 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、コロナ感染注意、人事について、その他
12/22 16:00~17:00	現状報告、予定確認、モニタリング、ヒヤリハット、スマイルレポート、研修報告、その他
1/24 16:00~17:00	現状報告、研修報告、予定確認、ヒヤリハット、スマイルレポート、感染症対策、その他
2/21 16:00~17:00	現状報告、研修報告、予定確認、モニタリング、ヒヤリハット、スマイルレポート、利用人数増加に向けて新しい取り組み、その他
3/28 16:00~17:00	現状報告、予定確認、モニタリング、ヒヤリハット、スマイルレポート、来年度の計画について、その他

イ 部所内研修

日 時	内 容
4月14日 16:00~17:00	SSTについて(1)
5月12日 16:00~17:00	SSTについて(2)
6月9日 16:00~17:00	ウィズを取り巻く環境、社会資源について22年度版
7月14日 16:00~17:00	相談援助(事例検討)
8月18日 16:00~17:00	精神疾患についての理解
9月8日 16:00~17:00	防災対策について 家具の転倒防止器具等のチェック
10月13日 16:00~17:00	感染症、食品衛生
11月10日 16:00~17:00	ひきこもりについての理解
12月9日 16:00~17:00	発達障害についての理解 感覚過敏他
1月13日 16:00~17:00	相談援助(事例検討) ひきこもり、不登校について
2月10日 16:00~17:00	差別解消法と虐待防止法
3月10日 16:00~17:00	職場のストレスケア

ウ 保護者会(個別面談会)

日 時 令和4年3月25日(土) 13:00~16:00

参加者 4名

家庭や職場での様子や、センターでの様子、今後の事など、気になっている事を個別に話し合い、支援の方向性を確認した。

エ 観音寺市発達障がい等支援連携会議

日 時	会議名	参加者	内 容
6月16日	代表者会議	中止	令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画など
6月16日	実務者会議	中止	令和3年度事業実績及び令和3年度事業計画など
9月8日	実務者会議	中止	
2月9日	実務者会議	幸木 徹	次年度事業の検討、情報共有他

オ 三豊市発達障害等支援連携会議

日 時	会議名	参加者	内 容
5月26日	代表者会議	都合により 不参加	令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画、三豊市発達障害者・児支援の取り組みについて（報告）
10月12日	実務者会議	支援員 毛利和枝	三豊市の現状と各課の取り組み（報告） 三豊市の就学指導等について（情報提供）
2月 3日	実務者会議	都合により 不参加	令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画（案） 情報提供「三豊市の就労支援について」

(4)主催イベント

ア ハナミズキの会

日 時	内 容
5月28日（土） 10:00～11:30	3名参加 座談会 最近の様子、成人の息子が先日診断を受けたばかりだという母親の参加者にアドバイスなど。
8月27日（土） 10:00～11:30	参加者なし
11月26日（土） 10:00～11:30	1名 将来が不安だという母親にアドバイスなど。
2月25日（土） 10:00～11:30	5名 座談会 話を聞いてほしい、という母親に、先輩の母親がアドバイスしたり、障害年金や休業補償について学んだ。

イ オンライン講演会

日 時 令和3年 9 月 3 日（土）14:00～16:00

場 所 オンライン開催（Microsoft Teams）

講師 特定非営利活動法人岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏
内容 「生きづらさを抱える若者への理解と支援」と題して、長年不登校やひきこもりの支援に関わってきた経験から、発達障がいとの関連や周りの人にできることを考える機会とした。
アンケートの結果、全員が満足以上の回答だった。
参加者 20名

ウ 海浜清掃

- ① 日時 令和4年7月25日（月） 13:30～15:00 ファミリーキャンプ場
参加者 利用様 6名
② 日時 令和5年3月11日（土） 10:00～11:30 ファミリーキャンプ場
参加者 利用者様 2名

エ 遠足

日程 令和2年10月17日（月） 高松シンボルタワー謎解きゲーム 5名参加

(5) 広報活動

チラシを配布したり、ブログ、インスタグラムなどを活用し、ウィズの活動や研修会、講演会などについて週2回以上情報発信に努めた。

(6) 大人のひきこもり支援（香川県委託事業）

令和4年度の事業実施の方針

ひきこもりの状態にある方や、生きづらさを抱える方が安心して交流できる居場所につながり、そこで人との関係づくりや社会参加につながる体験をしながら自信の回復やセルフケア能力の向上を図り、社会参加を促進していくことを目的とする。

ア 利用状況

居場所利用 2名
家庭訪問 2件（13回）
相談受付 3件（電話、メール含む）

イ 支援内容

居場所開設 毎月第1、第3火曜日 16:00～18:00
相談受付・家庭訪問 毎月第1、第3水曜日 13:30～16:30

ひきこもりUX会議、三豊市マーガレットの会、香川県ひきこもり支援研修会、意見交換会などに参加。

報告者：支援センターウィズ施設長 佐々木ゆかり

4. リール

総評：令和4年度は、コロナウイルス感染による職員及び利用者の欠勤はほとんどなかったが、レストランの来客数は減少したままであった。

就労継続支援 A 型企業では、以前は利用者の有給休暇日を事業者が主体で決定していたが、令和4年度からは利用者の希望を優先する利用者主体で取得するように変更した。その結果、利用者にとって有給の取得はしやすくなったものの、一方で有給休暇の日は利用日として算定できない為、訓練等給付費にはマイナスの影響となってしまうことになった。制度上の矛盾を感じた。

また、利用者の一般就労に向けて2つの新規取り組みを始めた。1つ目は、9月から一般就労を目指す利用者の定期個別面談を開始した。利用者全員に呼びかけを行い、希望者を募って実施している。3名の利用者から希望が有り、面談を続けたところ、2名の一般就労が確定した(令和5年度に一般就労の予定)。2つ目は、3月から利用者研修会を開始した。これは利用者からの要望もあったので、基本的に全員対象としている。登録数利用者数は前年度比+1名の13名だった。

短期入所事業では、12月に職員体制の変更が有り、新しい職員配置で、全面的に体制を立て直した。その中で、職員の休日、休憩時間、介助の方法、会議の意見交換等の見直し等を行った。また、登録利用者の全てのデータを整理したところ、既に利用を終結している利用者も複数いた為、適切な処理を行った。その結果、新規利用者を増やすことができるようになり、3月から受入れを開始した。一方で、職員数が不十分である為、職員の確保は継続して努めなければならない。

続いて、各方針について振り返る。リールでは、令和4年度の事業実施の方針として、

- ①A 型利用者を18人雇用と、短期入所の利用者毎月1日平均3.6人を達成する
- ②就労支援会計の黒字化
- ③ソーシャルワークの基本を理解し、実践力を強化する

①については、A型と短期入所共に達成できていない。A型の利用状況は1日平均11.8人から13.9人で推移し、1年間の平均は12.5人であった。前年度比+0.5人である。一方短期入所の利用状況は1日平均2.9人から3.7人推移し、1年間の平均は3.3人であった。

②については、達成出来ていない。コロナウイルス感染症の影響に加えて、物価高騰の影響を大きく受けた。レストランにおいて、前期に価格転嫁を行ったが減少したままの厳しい状況であった今年度の1日平均売上は、今年度の1日平均売り上げは50,055円(前年度比97%)だった。

③については、毎月の研修会に加えて、事例検討会を行った。内部の事例だけでなく外部の事例を用いて行った。現在の私たちの地域で起こっている事例が県外でも起こりうる事を認識し、広くネットワークを構築しておく必要があることに気がついた。

(1) 利用状況

ア 就労継続支援 A 型

定員 20 名 利用登録者数 13 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延利用者数	265	267	272	269	273	273	256	263	247	258	251	290	3184
開所日数	22	21	22	21	23	22	21	22	21	20	19	21	255
1 日あたりの 平均利用人数	12.1	12.8	12.4	12.9	11.9	12.5	12.2	12	11.8	12.9	13.3	13.9	12.5

開所日：毎週火～土曜日（12 月 30 日～1 月 3 日を除く）

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行されたもの

イ 短期入所

利用登録者数 48 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延利用人数	64	94	90	68	106	83	84	91	90	75	69	64	978
開所日	18	31	30	23	27	27	23	26	24	20	20	22	291
1 日あたりの 平均利用人数	3.56	3.03	3.00	2.96	3.93	3.07	3.65	3.50	3.75	3.75	3.45	2.91	3.36

開所日：291 日

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて介護給付受給者証を発行されたもの

(2) 労支援状況

ア レストラン

令和 4 年度の売上は 8,256,678 円(前年度比 88%)だった。

集客のため、店のこだわりを料理と雰囲気で表現することに取り組んだ。ランチ等、野菜を使用しながら、フランス料理のエッセンスを盛り込み、料理を提供出来たように思うが、店内でのこだわりに対する表現としては、店の雰囲気の兼ね合いもあり、難しかった。

A 型利用者だけで作る事が出来る商品の考案は、クオリティの面と利用者自身の力量の面を考慮すると、その水準に達する商品の考案は困難だった。

経費の削減については、材料の仕入れ先、弁当関係に関しては、サラダ容器や価格の変更、また余分な物を省く事で、利益が発生しやすい形態に変更する事が出来た。

イ 美容室

令和4年度の売上は3,798,603円(前年度比123%)だった。

子育て世代にキッズカットを行っていることや、兄弟同行可能等の情報を施術中に宣伝し、子供カット(中・高生を含む)は67%アップとなった。

コロナ禍になり、一対一の個室対応とした結果、お客様から、「ゆっくり落ち着く」との声が多くあった。ニーズにあったお客様の予約を、なるべく被らないように管理し、くつろげるスペースを作った。

来店者数	685人	25%増
新規来店者数	80人	48%増
平均来店サイクル日数(再来店)	75日	

ウ 産直

令和4年度の売上は227,295円(前年度比152%)だった。

メーカーが作ったポップを利用しながら積極的に宣伝していくことが出来た。今後はリアルスタッフやお客様の声を反映させたポップを作り、商品PRに努めて販促アップを図る考えである。販売促進のため、レストランの来客者へおすすめ商品を声掛けする取り組みを行った。陳列しながら新入荷やおすすめの呼びかけが出来る利用者様が増えた。引き続き職員が率先して来客者とコミュニケーションをとり、利用者様も巻き込んで相乗効果となるような声掛けを目指す。

エ カルチャースクール/レンタルスペース

令和4年度の売上は216,550円(前年度比104%)だった。

コロナウイルスの影響で、開講できないものもあった。レンタルスペースとしても、活用されることが減少していたが、年度後半になってからは、利用の問い合わせが増加傾向にあった。レストランと連携し、小規模ランチミーティングプランを新しく作り、営業活動を行った結果だと考えられる。事前の準備は、利用者の中で担当が有り、積極的に行っている。時々、利用者が忘れることもあるため、確認の声かけが必要である。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	15	14	12	24	15	16	18	15	16	20	17	198

オ 清掃委託作業

令和4年度の売上は265,044円(前年度比49%)だった。

観音寺市から清掃作業を受託し、支援員1名と利用者3名で、大谷やすらぎの里公園清掃を行った。作業では、トイレ清掃・トイレ周辺の除草作業(観音寺市)を月に3回、1回あたり2時間の作業を行った。単価は時給で、香川県の最低賃金である。

一方で、企業からの発注が途絶えている為、作業が減少している状態である。12月から行政関係を中心に営業活動を行ったが、当該年度中の受注には至らなかった。(令和5年度から1軒受注予定)

(3)会議・研修

ア 部所内会議（A型事業所会議：A型、短期入所事業所会議：SSと表記）

日 時	内 容
SS 4月19日 A型 4月21日	月初の登録利用者数と利用相談(A型.ショートステイ) 周知事項 協議事項(利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 委員会より, その他)
SS 5月17日 A型 5月19日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項, 協議事項(利用者様の変化について. 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 委員会より, その他)
SS 6月21日 A型 6月23日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)
SS 7月19日 A型 7月21日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)
SS 8月16日 A型 8月17日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項 協議事項, (利用者様の変化について, 月の問題点・ヒヤリハットと解決策)周知事項, 委員会より, その他
SS 9月13日 A型 9月15日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策) 周知事項, 委員会より, その他
SS 10月18日 A型 10月20日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項 協議事項, (利用者様の変化について, 月の問題点・ヒヤリハットと解決策)周知事項, 委員会より, その他
SS 11月17日 A型 11月15日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)
SS 12月15日 A型 12月13日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)
SS 1月19日 A型 1月17日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)
SS 2月16日 A型 2月14日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について, 今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より, その他)

SS 3月15日 A型 3月14日	月初の登録利用者数と利用相談（A型. ショートステイ），協議事項（利用者様の変化について，今月の問題点・ヒヤリハットと解決策，周知事項，委員会より，その他
----------------------	---

イ 部署内研修

日 時	内 容
4月19日	専門職の専門価値—SWと社会福祉の違い—
5月19日	障害者虐待防止について
6月21日	専門職の専門機能—我々は何を实践するのか
7月21日	人間にとって「豊かさ」とは何か
8月16日	「生きづらさ」とはなにか～
9月13日	避難訓練・防災研修 / 支援本質とアドミニストレーションを考える。
10月18日	「生活力」とは何か—生活力形成論
11月17日	「働く」を支援する—「労働」と「就労」について—
12月	部署内研修中止
1月19日	部署内研修中止
2月16日	虐待防止研修 私には義務がある。
3月15日	諸外国の实践に学ぶ —日本との違い—

(4) 主催イベント

ア ちょうさ文化継承プロジェクト(リール2階レンタルスペース)

開催日：2022年12月10日～、毎月第3土曜日10時～12時

参加者：6家族

参加費：7,000円(1,000円/回×7回シリーズ)

(5) その他

一般就労に向けた取り組みをスタートした。

ア 一般就労希望者向け個別面談(2022年9月～開始)

開催日：毎月第2土曜日

対象者：一般就労を目指す人、将来的に目指したい人、興味がある人

参加者：3人

イ 利用者様研修会

開催日：毎月最終火曜日

対象者：利用者全員(2つのグループに分かれて実施)

内容：ビジネスマナー(香川県中小企業家同友会制作の教本より)、 SST

報告者：リール施設長 毛利公一

5. ビーム

【就労継続支援 B 型】【生活介護】

(1) 利用状況

ア 就労継続支援 B 型（令和 2 年 12 月 1 日開所）

定員 14 名 利用登録者数 14 名（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（1 日平均 12.1 人：延開所日数 2,977 / 開所日数 248 日）

開所日：月～金（9：00～16：00） ※作業などでの開所日変更有

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行されたもの

イ 生活介護（令和 4 年 3 月 31 日開所）

定員 6 名 利用登録者数 11 名（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（1 日平均 3 人：延開所日数 2,718 / 開所日数 244 日）

開所日：月曜日～金曜日（9：00～16：00）

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて介護給付受給者証を発行されたもの

(2) 支援内容

【就労継続支援 B 型】

内容：（農作業）個人農家やセルプの委託作業

作業内容は、大蒜、玉葱の定植、収穫、除草など

（内職）内職業者（有限会社サンリツ）の下請け作業

【生活介護】

内容：生産活動、音楽活動、OT によるリハビリ（火、金）

ア 生活介護利用者の 70 パーセント以上の利用を目指す

現在利用者登録は 7 名で、登録数は増えているが、平均利用数向上にはつながっていない。

イ 利用者の工賃向上

現在平均工賃 21,000 円で農作業、軽作業共に収入が増えてきている。利用者も様々な作業に参加することができているが、特定の作業しか取り組めない方もおり、補助具や支援の方法を変えて、作業の幅を広げて、工賃向上につなげていけるようにする。

今後も、維持できるようにしていく。

ウ 個別支援計画の充実

生活介護の利用者と就労継続 B 型の利用者のニーズは異なり、個々に合った支援が必要となっており、直接処遇職員は、個々の能力に合わせた支援をする能力が必要となってくる。新規利用者が増えてきたこともあって、個別支援計画の重要性が増している。細かなチェ

ックと変化への対応を今後も進めていく。

(3)会議・研修

ア 部所内会議

日 時	内 容
4/25	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
6/25	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
8/25	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
9/21	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
10/21	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
11/19	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
12/27	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
1/20	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
2/10	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
3/23	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告

イ 部所内研修

日 時	内 容
4/25	チームスの活用方法
6/25	虐待
8/25	成年後見人
9/21	防災
10/21	感染症
11/19	嘔吐時の対応
12/27	虐待防止 身体拘束
1/20	差別解消法
2/10	福祉サービスについて

(4)主催イベント

もちつき・忘年会

初詣

花見

報告者：ビーム施設長 田邊早矢加

V. 職員数と採用・退職状況（理事長は常勤に含む）

(1) 令和4年4月1日 現在 職員数

常勤職員 21 名

非常勤職員 49 名

(2) 年度内の採用と退職

< 採用 >

常勤職員 3 名

非常勤職員 7 名

< 退職 >

常勤職員 3 名

非常勤職員 6 名

(3) 令和5年3月31日 現在 職員数

常勤職員 21 名

非常勤職員 50 名